

短 報

## 幼児期における遊びの質および生活状況と「意志」育成との関連

鍵小野美和\*<sup>1</sup> 川出富貴子\*<sup>2</sup>

### 緒 言

近年、社会的・経済的環境の変化に伴い子どもの遊びはバーチャル化しており、遊びの質の変化がみられる<sup>1-3)</sup>。一方、子どもの暴力など子どもに関する問題が多様化・深刻化していることから<sup>4,5)</sup>、子どもの育ちに重要な遊びの質と子どもの育ちとの関連を検討することが必要と考えられた。

R.シュタイナーによれば生まれてから7歳までの発達課題を「意志」の育成としていることから、幼児期の遊びの質の変化<sup>6-13)</sup>に伴い子どもの意志力(社会と出会う力)が弱まり、子どもの「育ち」に深刻な問題を投げかけていると考えられる。

そこで、本研究では幼児期の遊びの質および生活状況と「意志」育成との関連をみることによって子どもの健康問題解決のための研究の基礎資料とすることを目的とする。

### 研究 方法

#### 1. 対象

本研究の対象は通園歴3年間の6歳児(シュタイ

ナーのいう4つの発達段階のうち、発達課題を意志育成とした第一段階にあたる)をもつ母親280名である。調査依頼は調査者の居住地である東海地区で同意の得られた一般的な私立幼稚園4施設である。

#### 2. 方法

調査方法は無記名自記式質問紙調査である。調査内容は子どもの基本属性と子どもの発育状況5項目、文献<sup>6-13)</sup>ならびに保育士への調査等の先行研究<sup>14)</sup>から得た内容を吟味し、シュタイナーの提唱した12感覚のうち、意志感覚(触覚・生命感覚・運動感覚・平衡感覚)に関連する遊びおよび行動、社会性、創造性、想像力、情緒などの子どもの状況の38項目(表1)である。調査時期は平成17年2月~3月である。

回答は母親の主観で「非常によくした、よくした、あまりしない、全くしない」の4段階スケールとした。調査は各園を通じて保護者に配布し、1週間前後の留め置き後、各園の指定箱を通して回収を依頼した。

#### 3. データ分析

分析には統計解析ソフト SPSS を用い、全ての項目について単純集計と相関分析を行った。4段階ス

表1 意志感覚に関連する遊び・生活体験・子どもの状況の調査項目

| カテゴリー   | 遊びの種類および行動に関する項目  |
|---------|---|
| 触覚      | 泥んこ遊び, 砂場遊び, 川遊び, 水遊び, 手遊び, 草花遊び  |
| 生命感覚    | 虫取りの体験, 喧嘩などで相手の痛みを知る機会, 蜂刺されや毛虫による痛み体験, 動物や虫とのふれあい                           |
| 運動感覚    | 活動的な遊び, 手足や身体を動かす遊び, リズミカルな遊び   |
| 平衡感覚    | 三輪車・自転車乗り, 木登りや山登り, 坂道や階段の上り下り, 鉄棒・のぼり棒・雲梯                                    |
| 人間との関わり | 仲間遊び, 親子遊び  |
| 時間遊び    | 単純な遊びを繰り返す  |
| 受容される感覚 | 褒められる体験, 包み込まれる体験   |
| 生活状態    | 規則正しい生活   |
| 知的遊び    | テレビ・ゲームなどバーチャルな遊び   |
| 学習      | 知的な学習, 英語の学習  |
| 子どもの状況  | 危険の察知, 自分の体調への気づき, リズム感覚, バランス感覚, 創造性, 想像力, 友達との関わり, 思いやり, 柔軟性, 対話力, 運動感覚, 意志 |

\*1 川崎医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健看護学専攻 \*2 川崎医療福祉大学 (連絡先) 鍵小野美和 〒701-0193 倉敷市松島288 川崎医療福祉大学大学院 E-Mail: mkagion@fujita-hu.ac.jp

ケールの回答は「非常によくした」から「全くしない」に4～1点を割り当て得点化し、遊びと生活体験の項目をシュタイナーの意志感覚に該当する『触覚』『生命感覚』『運動感覚』『平衡感覚』のカテゴリ毎に得点を算出し、カテゴリと子どもの状況(危険の察知, 体調への気づき, リズム感覚, 運動感覚, バランス感覚, 創造性, 想像力, 友人との関わり, 思いやり, 柔軟力, 対話力, 子どもの意志の12項目)との関連について、スピアマンの相関係数を求め、有意水準5%とした。

#### 4. 倫理的配慮

本研究は愛知医科大学看護学部の倫理委員会の審査を受け承諾を得た後(倫理審査番号57番)実施した。調査を行うにあたり施設長および協力者に対して、研究内容, 協力は自由意志でありいつでも撤回できること, 回答したくないものは回答しなくてよいこと, 研究協力の有無が何ら保育内容に影響のないこと, データは無記名であり個人は特定されないことなどを十分説明し, 同意・承諾が得られた場合のみ実施した。

#### 5. 用語の定義

【意志感覚】: R.シュタイナーの提唱した12感覚の中の一つの領域をさしている(表2)。感覚は大きく意志感覚, 感情感覚, 認識感覚の3つに分けられ, 各々に4感覚が所属しており, 意志感覚には触覚・生命感覚・運動感覚・平衡感覚の4つの感覚で構成されており, 人間の土台づくりとして主として7歳までの育成を考えている<sup>15-17)</sup>。

## 結 果

配布数455部のうち回収数280部で, 回収率・有効回答率は共に61.5%であった。

1. 対象者の属性は, 家族人数は平均 $3.23 \pm 0.64$ 名であり, 二人が2名(0.7%), 三人が26名(9.2%), 四名が157名(55.7%), 五人以上が94名(33.3%)

であった。きょうだい数は平均 $1.66 \pm 0.70$ 名であり, きょうだいなしが127名(45.0%), 一人が118名(41.8%), 二人以上が31名(11.0%)であった。母親の平均年齢は $35.6 \pm 3.53$ 歳であった。

2. 発育状況は, 「はいはい」を「非常によくした/よくした」は212名(75.5%), 「ものなめ」を「非常によくした/よくした」は190名(67.9%), 「指しゃぶり」を「非常によくした/よくした」は89名(31.8%), 「物に触る・掴む」ことを「非常によくした/よくした」は255名(90.1%), 母乳栄養88名, 人工栄養44名(15.7%), 混合栄養114名(51.4%)であった。
3. 遊びの項目で高得点は, 「活動的な遊び」3.61, 「手遊び」3.52, 「手足や身体を動かす遊び」3.36, 「砂場遊び」3.34, 「三輪車・自転車乗り」3.25などで, 低得点は「川遊び」2.14, 「木登りや山登り」2.22, 「草花遊び」2.45, 「パーチャルな遊び」2.74であった。生活体験の項目では「抱っこ・おんぶされた体験」3.81, 「ほめられた体験」と「規則正しい生活」は3.64, 「包み込まれる体験」3.63などで, 低得点は「虫さされや毛虫などによる痛み体験」2.14, 「英語の学習」2.25などで, 「子どもの意志」は3.05であった。
4. 子どもの状況と発育の関連は, 「抱っこ・おんぶ」は, 運動感覚, バランス感覚, 創造性, 想像力, 友達との関わりと有意な正の相関を認めた。また「触る・掴む」はバランス感覚, 子どもの意志と負の相関を認めた(表3参照)。
5. 子どもの状況と感覚との関連は, 子どもの状況と感覚との関連について表4に示した。感覚カテゴリと子どもの状況では多くの有意な正の相関を認めた。『運動感覚』に関わる遊びは全ての子どもの状況と, 「生活状態」は創造性と子どもの意志以外の子どもの状況と, 『生命感覚』はリズム感覚, 柔軟性以外の子どもの状況

表2 シュタイナーの12感覚と発達課題

| 発達段階                            | 育成すべき感覚   | 育成すべき感覚グループ<br>(発達課題)          |
|---------------------------------|---|--------------------------------|
| 第一・7年期(0～7歳)<br>エーテル体(生命体)の誕生   | 1. 触覚<br>2. 生命感覚<br>3. 運動感覚<br>4. 平衡感覚            | 意志の育成<br>≪意志感覚≫(肉体的感覚)         |
| 第二・7年期(7～14歳)<br>アストラル体(感情体)の誕生 | 5. 嗅覚<br>6. 味覚<br>7. 熱感覚<br>8. 視覚                 | 感情の育成<br>≪感情感覚≫(魂の感覚)          |
| 第三・7年期(14～21歳)<br>自我の誕生         | 9. 聴覚<br>10. 言語感覚<br>11. 思考感覚<br>12. 自我感覚(私・個体感覚) | 認識・思考の育成<br>≪認識感覚≫(霊的感覚・社会的感覚) |

表3 子どもの状況と発育の関連

(n=280)

|         | はいはい   | もの舐め   | 指しゃぶり  | 触る・掴む   | 抱っこ・おんぶ |
|---------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 危険の察知   | -0.074 | 0.039  | -0.022 | -0.076  | 0.028   |
| 体調へのきづき | -0.091 | 0.028  | 0.027  | -0.046  | -0.009  |
| リズム感覚   | 0.019  | 0.102  | 0.004  | -0.07   | 0.037   |
| 運動感覚    | -0.043 | -0.017 | -0.058 | -0.171  | 0.132*  |
| バランス感覚  | 0.012  | 0.081  | -0.007 | -0.014* | 0.211** |
| 創造性     | -0.064 | -0.058 | -0.017 | -0.074  | 0.220** |
| 想像力     | -0.069 | -0.041 | -0.023 | -0.101  | 0.133*  |
| 友達との関わり | -0.101 | -0.076 | 0.002  | -0.054  | 0.170** |
| 思いやり    | -0.004 | 0.074  | -0.107 | 0.001   | 0.06    |
| 柔軟力     | -0.054 | -0.004 | -0.063 | -0.091  | 0.103   |
| 対話力     | -0.081 | 0.051  | -0.064 | -0.112  | 0.107   |
| 意志      | -0.078 | -0.056 | 0.084  | -0.127* | 0.102   |

脚注：スピアマンの相関係数

\*\* : p<0.001, \* : p<0.05

表4 感覚カテゴリーと子どもの状況・遊びとの関連

(n=280)

|         | 触覚      | 生命感覚    | 運動感覚    | 平衡感覚    | 人間との関わり | 時間遊び    | 受容される感覚 | 生活状態    | 知的遊び    | 学習      |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 危険の察知   | 0.05    | 0.292** | 0.153*  | 0.01    | 0.185** | 0.084   | 0.253** | 0.192** | -0.118  | 0.195** |
| 体調への気づき | 0.063   | 0.200** | 0.183** | 0.105   | 0.215** | 0.136*  | 0.204** | 0.192** | -0.082  | 0.186** |
| リズム感覚   | -0.05   | 0.064   | 0.658** | 0.151*  | 0.238** | 0.140*  | 0.176** | 0.150*  | -0.091  | 0.222** |
| 運動感覚    | 0.147*  | 0.238** | 0.525** | 0.459** | 0.072   | 0.094   | 0.527** | 0.176** | -0.034  | -0.049  |
| バランス感覚  | 0.057   | 0.131*  | 0.434** | 0.356** | 0.086   | 0.048   | 0.459** | 0.155*  | 0.01    | 0.076   |
| 創造性     | 0.22**  | 0.144*  | 0.209** | 0.239** | 0.122*  | 0.057   | 0.222** | 0.096   | -0.126* | 0.119*  |
| 想像力     | 0.238** | 0.199** | 0.178** | 0.147*  | 0.155*  | 0.051   | 0.337** | 0.137*  | -0.092  | 0.136*  |
| 友達との関わり | 0.24**  | 0.255** | 0.297** | 0.264** | 0.171** | 0.099   | 0.319** | 0.164** | 0.038   | 0.013   |
| 思いやり    | 0.053   | 0.135*  | 0.225** | 0.144*  | 0.184** | 0.09    | 0.313** | 0.231** | -0.009  | 0.215** |
| 柔軟性     | 0.095   | 0.099   | 0.296** | 0.231** | 0.11    | 0.185** | 0.201** | 0.208** | -0.003  | 0.136*  |
| 対話力     | 0.221** | 0.208** | 0.333** | 0.221** | 0.155*  | 0.08    | 0.229** | 0.150*  | -0.01   | 0.055   |
| 意志      | 0.08    | 0.199*  | 0.181*  | 0.227** | 0.152*  | 0.063   | 0.244** | 0.045   | -0.073  | -0.011  |

脚注：スピアマンの相関係数

\*\* : p<0.001, \* : p<0.05

と、『平衡感覚』は危険の察知,自分の体調への気づき以外の状況と有意な正の相関を認めた。一方,テレビ・ゲームなどのバーチャルな知的な遊びは創造性と有意な負の相関を認め,有意ではないが危険の察知,体調への気づき,リズム感覚,運動感覚,想像力,思いやり,柔軟力,対話力,意志との負の相関が認められた。

考 察

『運動感覚』に関わる遊びは全ての子どもの状況と正の相関を,『生命感覚』『触覚』『平衡感覚』に関わる遊びと『受容される感覚』はほとんどの子どもの状況と有意な正の相関を認めた。R.シュタイナーは人間発達の基本的要件として主として7歳までに意志感覚の育成を考えているが<sup>15)</sup>,本研究の結果からも『運動感覚』『生命感覚』『触覚』『平衡感覚』などの意志感覚の育成が創造性や想像力,友人との関わり,思いやり,対話力等を育てることが確認された。

一方,知的遊びは創造性と有意な負の相関を認め,

有意ではないが危険の察知,体調への気づき,リズム感覚,運動感覚,想像力,思いやり,柔軟力,対話力,意志との負の相関が認められ,テレビ・ゲームなどのバーチャルな知的遊びにより,シュタイナーのいう4つの意志感覚が育成されるべき時期に育成されないことによる意志の弱体化が示唆された<sup>18-20)</sup>。

結 論

シュタイナーは人間発達の基本的要件として主として7歳までに意志感覚の育成を考えているが,意志感覚の育成が創造性や想像力,友人との関わり,思いやり,対話力等を育て,バーチャルな知的遊びによる意志の弱体化が示唆された。

本研究の限界

本研究は子どもの認知能力,言語能力の限界から対象を園児の養育者である母親としており,調査結果は母親の判断によるものである。今後は分析対象を子ども本人に広げ研究を進めたい。また,今回は相関係数による検討であり,今後さらなる明確化に

努めていきたい。

おわりに

今回の研究結果を基礎として、幼児期の生活状況および遊びの質と「意志」育成について調査対象を拡げ、子どもの生活状況および遊びの質と成長発達との関連について研究を進めることで、子どもの問

題に対する解決の一端としての方向性を示すエビデンスとなる研究を目指したい。

本研究は、日本看護科学学会第26回学術集会(2006年)<sup>21)</sup>で発表した。

ご多忙な時期に調査にご協力下さいました対象者の方々に深くお礼申し上げます。

- 1 -

アンケート調査ご協力をお願い

近年、子どもに纏わる問題・課題が深刻な様相を呈していますが、人間の土台形成や成長発達のためには、子ども時代の遊びに大きな意味があると思います。この調査は現代社会の幼児期における生活・遊びの現状を把握する事にあります。ご回答いただいたデータは全体的な傾向を見るもので、個別データとしては扱いません。お答えしたくないものにはお答えしなくても構いません。プライバシーは厳守いたしますので何とぞご協力をよろしくお願い致します。

I. 質問の空欄に当てはまる言葉を入れ、該当する箇所に○印をつけて下さい。

1. あなたの年齢：( ) 歳
2. 性別：(1)=男 (2)=女
3. お子さまの通園している幼稚園名( ) 幼稚園
4. お子さまの通園年数：( ) 年
5. 通園した兄弟姉妹 (1)=有：( ) 人 (2)=無
6. あなたのご家族(本人含む) (1)=2人 (2)=3人 (3)=4人 (4)=5人以上
7. 今の自分が (1)=好き (2)=どちらでもない (3)=嫌い

II. あなたのお子さまの状況についてお伺いします。該当する箇所に○印をつけて下さい。

1. お子さまの乳児期の栄養：(1)=母乳栄養 (2)=人工栄養 (3)=混合栄養
2. 乳児期の「はいはい」について：(1)=非常によくした (2)=よくした (3)=あまりしなかった (4)=全然しなかった
3. 乳児期の「ものなめ」について：(1)=非常によくした (2)=よくした (3)=あまりしなかった (4)=全然しなかった  
(注：手当たり次第いろんなものをなめる)
4. 乳児期の「指しゃぶり」について：(1)=非常によくした (2)=よくした (3)=あまりしなかった (4)=全然しなかった
5. 乳幼児期(前半)に「物に触る・掴む」：(1)=非常によくした (2)=よくした  
(3)=あまりしなかった (4)=全然しなかった

III. 以下の〔 〕に適当な言葉を入れて文章を完成してください。

1. 一般的に子どもにとって遊びは  
〔 〕である。
2. 一般的に子どもにとって意志\*は  
〔 〕である。
3. 今、私の子どもの意志\*は  
〔 〕である。

IV. 子どもの成長発達にとって、幼児期の遊びの果たす役割はどんなことだと思いますか。また、現在の幼児期の遊びに関して何かお感じになっていることがありましたら、どんなことでもいいですからお聞かせください。

V. 次の言葉から、あなたのお子さまについて最も該当する尺度（☆）の上に○印を付けてください。

| 項目                             | 尺度   | よくする    | 時々する    | あまりしない     | 全然しない     |
|--------------------------------|------|---------|---------|------------|-----------|
|                                |      | (よくした)  | (時々した)  | (あまりしなかった) | (全然しなかった) |
| 泥んこ遊び                          |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 砂場遊び                           |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 川遊び（ザリガニ採り、魚採り等）               |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 水遊び                            |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 手遊び（折り紙、積み木、粘土、泥団子、あやとり、お手玉等）  |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 草花遊び（草花で笛や動物等、色んなものを作る）        |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 活動的な遊び（歩く、走る、飛ぶ等）              |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 手足や身体を動かす遊び（ボール遊び、縄跳び、フラフープ等）  |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 三輪車・自転車乗り                      |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| バーチャルな遊び（テレビ・ファミコン等）           |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 単純な遊びを繰り返す                     |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 仲間遊び（花ももんめ、カゴメカゴメ、氷鬼、ごっこ遊び等）   |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 親子遊び（肩車、おうまさん、ペンギンさん）          |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 虫取りの体験（団子虫、青虫、カマキリ、蟬等）         |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 木登りや山登り                        |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 坂道や階段の上り下り                     |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 鉄棒・のぼり棒・雲梯（ぶら下がる、ぐるぐる回る、逆さになる） |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 知的な学習（読み書き、計算、ドリル等）            |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 英語の学習                          |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
|                                | (尺度) | よくある    | 時々ある    | あまりない      | 全然ない      |
|                                |      | (よくあった) | (時々あった) | (あまりなかった)  | (全然なかった)  |
| 喧嘩等で相手の痛みを知る機会                 |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 蜂刺されや毛虫による痛み体験                 |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 動物や虫とのふれ合い                     |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 抱っこ・おんぶされた体験                   |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 誉められる体験（ちょっとしたことが認められ、誉められる等）  |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 包み込まれる体験（受容され、温かい目で見てくれる等）     |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 規則正しい生活（食事・睡眠・遊び等、リズムある生活）     |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
|                                | (尺度) | 非常によい   | ややよい    | あまりよくない    | 非常に悪い     |
| 危険の察知（自分のできる範囲を心得て無理をしない）      |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 自分の体調への気づき                     |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| リズム感覚                          |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 平衡（バランス）感覚                     |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 創造性（自分で遊びを生み出して遊ぶ）             |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 想像力（想像力を働かせて遊ぶ）                |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 友達との関わり（友達と一緒に遊ぶ）              |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 思いやり（年少児・老人の手助け、兄姉の役割がとれる等）    |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 柔軟性（しなやかさ）                     |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 対話力（友達とおしゃべりができる）              |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
| 運動感覚                           |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |
|                                | (尺度) | 非常に強い   | やや強い    | やや弱い       | 非常に弱い     |
| 子どもの意志*                        |      | ☆       | ☆       | ☆          | ☆         |

【注】\*意志：ここでは意図したり我慢できる、人と関われる等の世の中と出会える力をさす。

お忙しい中、ご協力大変ありがとうございました。

## 文 献

- 1) 日本子ども家庭総合研究所：日本子ども資料年鑑，2006，KTC 中央出版，東京，299-330，2006．
- 2) 中山豊：遊び環境とその変化．チャイルドヘルス，8(1)，14-21，2005．
- 3) 清川輝基：人間になれない子どもたち，榊出版社，東京，24-71，2003．
- 4) 日本子ども家庭総合研究所：日本子ども資料年鑑．2006，KTC 中央出版，東京，331-368，2006．
- 5) 清川輝基：人間になれない子どもたち，榊出版社，東京，74-96，2003．
- 6) 細野英夫 他：幼児期の直接体験についての一考察，白鷗学生論集，25，181-233，2000．
- 7) 西山修：子どもたちはいかに知識を伝達し合うか—幼時の自然との関わりを中心とした観察から—，幼児教育研究年報，4，101-107，1996．
- 8) 園田悦代 他：子どもの自然体験と自立の関連性，京都府立医科大学医療短期大学紀要，10(2)，195-200，2001．
- 9) 徳丸武臣編著：幼児の心身を育てる遊び，圭文社，2003．
- 10) 及川研：幼児期に遊びに熱中することの大切さ，児童心理，54(13)，2000．
- 11) 時本久美子 他：幼児の生活環境と遊びの様相に関する研究，日本体育大学紀要，27(1)，121-133，1997．
- 12) 加用文夫：遊び研究の方法論としての「心理状態主義」，発達，55(14)，1-15，1993．
- 13) 海卓子：子どもは自然から人間らしさ，子どもらしさを取り戻す，発達，41(11)，18-25，1990．
- 14) 川出富貴子，鍵小野美和，大見サキエ，岩瀬貴美子，臼井徳子：幼児期の遊びの質と成長発達との関連—母親及び保育士らのグループインタビュー分析から—，日本看護科学学会第24回学術集会，2004年．
- 15) 松浦賢：霊学の観点からの子どもの教育，第四版，イザラ書房，埼玉，121-156，2004．
- 16) ルドルフ・シュタイナー：教育の基礎としての一般人間学，筑摩書房，東京，123-136，1999．
- 17) ヴィリ・エブリ：感覚を育てる 判断力を育てる，晩成書房，東京，216-234，1997．
- 18) 岡田尊司：脳内汚染，文藝春秋，東京，180-228，2006．
- 19) 清川輝基：人間になれない子どもたち，榊出版社，東京，116-142，2003．
- 20) ジェーン・ハーリー：滅びゆく思考力，大修館書店，東京，141-176，2001．
- 21) 鍵小野美和，臼井徳子，川出富貴子：幼児期における生活状況および遊びの質と「意志」育成との関連，日本看護科学学会第26回学術集会，2006年．

(平成20年6月10日受理)

## Correlation between “Will”, Quality of Play and Living Conditions in Infancy

Miwa KAGIONO and Fukiko KAWADE

(Accepted Jun. 10, 2008)

Key words : will, quality of play, living conditions, infancy, R.Steiner

Correspondence to : Miwa KAGIONO

Doctoral Program in Nursing  
 Graduate School of Health and Welfare  
 Kawasaki University of Medical Welfare  
 Kurashiki, 701-0193, Japan  
 E-Mail: mkagiono@fujita-hu.ac.jp  
 (Kawasaki Medical Welfare Journal Vol.18, No.1, 2008 245-250)